



小松の熱い夏! 小松高校野球部 祝! 愛媛大会初優勝 祝! 甲子園初出場



愛媛大会決勝：応援する皆さん



愛媛大会決勝：応援へお礼



愛媛新聞社提供

甲子園：開会式での入場行進



小松高校で監督胴上げ

第96回全国高等学校野球選手権愛媛大会で優勝し、創立107年の校史において、初めて甲子園に出場を果たした小松高校野球部。アルプススタンドを埋めるほどの応援の皆さんを前に、1回戦、山形中央高校と対戦。先取点をあげ、主導権を握りましたが、逆転されたり、再逆転したり、手に汗握る展開となりました。結果、8対9で惜しくも敗れましたが、その熱くひたむきなプレーは、多くの皆さんの心にしっかりと焼き付けられました。

全国大会での必勝を胸に!



四国地区代表として、8月開催の「全国選抜リトルリーグ野球大会(北海道石狩市)」への出場を決めた西条リトルリーグの皆さんが市役所を訪れ、大会での目標などを語ってくれました。真っ黒に日焼けした選手たちは「初戦突破で勢いをつけて優勝を狙います」と大会に向けての自らの熱い思いを見せていました。

~全国高等学校総合体育大会~ インターハイの思いを新たに!



8月に開催のインターハイへ出場する高校生たちが市役所を訪れて、大会への目標などを語ってくれました。来庁した西条高校ソフトボール部・弓道部・ソフトテニス部の皆さん、個人戦の丹原高校剣道部・竹内選手、西条高校陸上部・西原選手(100mハードル)ら37人の顔は、自信と期待にあふれ輝いていました。

特集記事
支所だより
情報最前線
お知らせ
催し
講座・教室
募集
施設ガイド
ふるさと産品
H&M Bird's eye
カメラスポット
人権・同和教育他
文芸広場他
各種相談
保健センター
当番病院他
環境セミナー他

7/20 四国鉄道文化館南館オープン!



南館のオープンを記念して、名誉市民・十河信二氏のご遺族や四国旅客鉄道(株)など関係者約80人を招いて開館セレモニーを執り行いました。式典では多くの来賓や来館者が見守る中でテープカットを行い、南館のオープンを祝いました。

7/20 南館開館記念シンポジウムを開催



市内外から約230人が参加して、東京大学名誉教授の原朗氏が「十河国鉄総裁の瀬戸内観光構想」と題して講演を西条国際ホテルで行いました。また、パネルディスカッションも行い、今後の四国鉄道文化館のあり方についてさまざまな意見が交わされました。

7/22 ラジオ体操で元気な西条市をアピール



東予運動公園で開催した合併10周年記念事業「夏期巡回ラジオ体操会・みんなの体操会」。約1,200人が早朝から集い、一日の始まりにさわやかな汗を流し、ラジオを通して元気な西条市をアピールしました。

皆さんの子育てを支援します!



市内西部地域の子育て支援の拠点施設として開所した「西部ウイングサポートセンター」。7月26日の開所式では来賓や来館者が見守る中、市内全域での支援活動が充実し、子どもたちが地域で豊かに生きていけることを期待しつつ、テープカットが行われました。

7/19 漫画家つだゆみさん 楽しいトークショー



南館開館のイベントとして、まんが「十河信二伝」の著者であるつだゆみさんのトークショーを開催しました。市内の親子20人が十河信二記念館で本の制作過程の話を聞いたり、似顔絵を描いてもらったりしました。

7/20～8/3 保定市からいらっしゃい!



友好都市関係である中国・保定市から河北大学外国語学院日語科の教授と学生ら20人が来西。市内にホームステイし、環境や文化などの研修や施設見学、地域の祭りなどを通じ、多くの人々と交流を深めました。

7/17・18 協調して文化財の保存活用を推進



全国史跡整備市町村協議会四国地区協議会の総会、視察研修等が西条市で開催。参加自治体の職員や来賓の文化庁調査官が当市の永納山城跡を視察し、その保存活用について、さまざまな意見が交わされました。

8/5～7 まちを彩る笹飾りと阿波踊り



趣向を凝らした笹飾りが、約1キロメートルに及び丹原商店街を彩る「丹原七夕夏まつり」。初日は、悪天候で催しが一部中止となりましたが、2日目からは天候も回復し、吉野連の皆さんの阿波踊りが行われるなど、商店街は熱気に包まれていました。

7/13 夜空を彩る色鮮やかな花火

鷺森神社の管弦祭に先立つものとして、旧暦6月17日に行われている「おかげん祭市民花火大会」。

壬生川内港周辺には、4,500発の鮮やかな花火を眺ようと多くの人々が訪れていました。

特に、一段と大きく花開いた打ち上げでは、大きな歓声があがっていました。



8/2 海の恵みを食卓に 高校生料理コンテスト



県内産の魚介藻類を使った「第2回魚を使った高校生料理コンテスト」に市内高校生5チームが参加。魚食普及の創作ワンプレート料理に挑戦。斬新さ、食べやすさなどを競う中、魚の味を生かし、魚臭さをおさえ、食べやすく料理した丹原高校が優勝しました。

7/30・8/7 学ぶことは自分たちの命を守ること ～子ども防災サミット・キャンプ～



小松農村環境改善センターで開催した「第1回子ども防災サミット」に市内小学校の代表61人が参加し、防災研修やタウンウォッチングを行いました。丹原文化会館で開催した「防災キャンプ」では、宮城県気仙沼市から参加の児童が東日本大震災の体験を発表したり、初期消火体験など体験活動を行いました。キャンプと合わせて開催した「森はともだち推進事業」には市内中学校の代表30人が参加し、小松町山間部で森林作業を見学しました。県内初の「避難訓練コンサート」にも全員で参加し、児童生徒は防災へ取り組む大切さを感じていました。